

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	国語 2 A	
科目基礎情報							
科目番号		101121		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		電気情報工学科		対象学年		2	
開設期		通年		週時間数		2	
教科書/教材		高等学校 現代の国語(第一学習社)／国語要覧 (大修館書店)、ジャンプアップ高校漢字問題集〔改訂版〕 (東京書籍)					
担当教員		香川 悦子					
到達目標							
1. 現代文の評論を読み、基本的な読解力を身につけ、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを表現できる。 2. 現代文の文学作品の内容を理解し、深く共感したり想像する力を伸ばし、自分の感想を口頭や文章で表現できる。 3. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		内容を理解し、自分の考えを表現できる。		内容を理解できる。		内容を理解できない。	
評価項目2		内容を理解し、感想を表現できる。		内容を理解できる。		内容を理解できない。	
評価項目3		正しい日本語表現を用いて、感想文や作文が書ける。		感想文や作文が書ける。		感想文や作文が書けない。	
学科の到達目標項目との関係							
教養 (D) コミュニケーション能力 (E)							
教育方法等							
概要		さまざまな現代の優れた文章（評論、文学作品）を読み、基本的な読解力を身につけ、自分の考えや感想をもち、発表する力を養い、さらに書く力（表現力）をも養う。国語を通じて、多彩な文章表現に触れることで豊かな感性を育み、文学作品への親しみや読書への親しみを育てる。					
授業の進め方・方法		事前に本文に目を通しておくこと。国語はあらゆる学問の基礎となるものであることを自覚し、読解力や表現力の向上に努めよう。アクティブラーニングの手法を取り入れた発表形式の授業やグループワークの際には、他の学生とコミュニケーションをはかり、積極的に参加すること。夏休みには読書感想文を課すので、日頃から本への関心をもつことが望ましい。					
注意点		ノートは必ずとること。 平常点になる漢字テストや提出物はしっかりと取り組み、提出してください。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。 本科目は履修要覧(p.9)に記載する「④選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス				
		2週	評論 1 「現代の『世論操作』」		1,3		
		3週	評論 1 「現代の『世論操作』」		1,3		
		4週	評論 2 「『私作り』とプライバシー」		1,3		
		5週	評論 2 「『私作り』とプライバシー」		1,3		
		6週	評論 2 「『私作り』とプライバシー」		1,3		
		7週	前期中間試験				
	2ndQ	8週	試験返却 小説 1「砂に埋もれたル・コルビュジェ」		2,3		
		9週	小説 1「砂に埋もれたル・コルビュジェ」		2,3		
		10週	小説 1「砂に埋もれたル・コルビュジェ」		2,3		
		11週	評論 3 「フェアな競争」		1,3		
		12週	評論 3 「フェアな競争」		1,3		
		13週	評論 3 「フェアな競争」		1,3		
		14週	評論 3 「フェアな競争」		1,3		
		15週	前期末試験				
		16週	試験返却				
	後期	3rdQ	1週	小説 2「鏡」		2,3	
2週			小説 2「鏡」		2,3		
3週			小説 2「鏡」		2,3		
4週			評論 4 「不均衡な時間」		1,3		
5週			評論 4 「不均衡な時間」		1,3		
6週			評論 4 「不均衡な時間」		1,3		
7週			後期中間試験				
8週			試験返却 小説 3「城の崎にて」		2,3		
4thQ		9週	小説 3「城の崎にて」		2,3		

		10週	小説 3 「城の崎にて」	2,3
		11週	評論 5 「ロビンソン的人間と自然」	1,3
		12週	評論 5 「ロビンソン的人間と自然」	1,3
		13週	評論 5 「ロビンソン的人間と自然」	1,3
		14週	評論 5 「ロビンソン的人間と自然」	1,3
		15週	学年末試験	
		16週	試験返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用語の意味や内容を説明できる。	3	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	平常点	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0